

# 第 13 章 防 災 の 概 況

## 防災対策の推進

### 1. 災 害 対 策

(1) 総合防災訓練の実施 ※概要は124頁参照

(2) 気象情報等の収集・伝達

富山地方気象台発表の注警報、気象情報（大雨に関する情報、台風に関する情報等）のほか、長期予報、隣接県の注警報、台風、地震に関する情報を、県総合防災情報システム等を通じて、市町村、消防機関及び県関係機関に伝達し、防災体制に万全を期した。

(3) 総合防災情報システムの運用（H17.9から運用開始、H28.8に一部改修）

県、市町村、消防本部等との間で、防災関係情報や災害時における情報を迅速かつ的確に収集・伝達・共有する総合防災情報システムを運用している。

(4) 市町村防災担当課長会議

市町村との情報の共有、連携の強化を図るため、防災担当課長会議を開催した。

・期日及び場所等

令和2年2月21日 富山県民会館705号室

(5) 富山県物資拠点運営・輸送マニュアル

平成31年3月に策定した「県災害時支援計画」においては、災害時に国からの救援物資を受け入れるため、県物資拠点をリスト化しており、これら物資拠点の収容能力や運用上の課題等を分析・整理した物資拠点運営・輸送マニュアルを整備した。

### 2. 石油コンビナート災害対策

石油コンビナート等災害防止法により指定された特別防災区域の災害防止について、あらかじめ定めた事項により、総合的な防災対策の整備強化を図った。

・石油コンビナート等総合防災訓練の実施 ※概要は131頁参照

・特別防災区域への泡消火薬剤の配備

### 3. 震 災 対 策

(1) 令和元年度防災気象講演会

県民及び防災関係機関の担当者等を対象に、次のとおり開催した。

ア 日 時 令和元年11月15日 13時30分～

イ 場 所 富山県農協会館8階ホール

ウ 講演内容及び講師

　　風水害に対する気象台の取り組み

　　講師 富山地方気象台長 常盤 実 氏

　　風水害に強い地域づくり

　　講師 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授 阪本 真由美 氏

エ 参加者 168名

(2) 自主防災組織組織化研修会

ア 日時・場所・参加者数

富山地区

令和元年11月24日 富山空港ターミナルビル 28名

イ 対象者

自主防災組織未結成地区の自治会長・町内会長 等

(3) 地域の自主防災組織リーダー研修

ア 日時・場所・参加者数

第1回（富山地区）

令和元年10月5日 富山空港ターミナルビル 51名

第2回（新川地区）

令和元年10月6日 黒部市民会館 22名

第3回（高岡地区）

令和元年10月12日 高岡商工ビル 60名

第4回（砺波地区）

台風の影響により中止

イ 対象者

自主防災組織のリーダー等

(4) 地域防災力向上支援事業

災害による被害を最小限に抑えるために必要な地域防災力の向上に向け、自主防災組織の結成促進・活動の活性化や災害時に孤立が予想される集落における通信機器や防災資機材を緊急に整備することを目的として、補助金を交付した。

ア 自主防災組織資機材整備事業

自主防災組織の防災資機材等の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1自主防災組織あたり150千円を限度に補助）

富山市ほか4市町43組織

イ 孤立集落資機材緊急整備事業

孤立する可能性のある集落における通信機器や防災資機材の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1集落あたり100千円を限度に補助）

魚津市1組織

ウ 津波対策資機材整備事業

沿岸自主防災組織における津波対策に使用するライフジャケット、ゴムボート、通信機器などの資機材の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1自主防災組織あたり100千円を限度に補助）

滑川市1組織

エ 洪水浸水対策資機材整備事業

自主防災組織の浸水防止・避難を目的とした資機材の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1自主防災組織あたり100千円を限度に補助）

氷見市ほか3市町14組織

オ 早期避難訓練等モデル事業

自主防災組織が避難マニュアル等に基づき、夜間に発生する災害を想定して実施する実践的な避難訓練に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1自主防災組織あたり50千円を限度に補助）

氷見市ほか1市5組織

カ 津波避難訓練モデル事業

沿岸自主防災組織が、津波災害を想定したマニュアルを作成し実施する避難訓練に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1自主防災組織あたり50千円を限度に補助）

キ 地域の自主的避難所運営計画等作成モデル事業

避難所運営委員会等が、大規模災害の発生を想定し、防災リーダーが運営するD.I.GやH.U.Gなどの図上訓練等を活用して、避難計画及び避難所運営計画を作成する事業等に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1／2（1自主防災組織あたり100千円を限度に補助）

魚津市1組織

ク 地区防災計画策定促進事業

地区防災計画を作成した自主防災組織が当該計画に基づき行う、避難訓練及び避難所開設・運営訓練等に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

氷見市1組織

## 4. 雪害対策

### (1) 降積雪情報の収集・提供

平成31年4月1日から同30日まで及び令和元年12月1日から翌年3月31日までの間、県内42地点の降積雪等気象観測、また12月20日から翌年3月10日までの間、15地点の降積雪実況値の収集等を行い、防災関係機関や報道機関等へ情報を提供したほか、平成30年度冬期の降積雪・気温観測の結果分析・資料整備を行った。

### (2) 雪害対策連絡会議の開催

降積雪期を前に、関係機関の出席を得て、交通の確保、生活関連施設における対策等について情報の共有を図った。

・期日及び場所等 令和元年11月19日 富山県民会館702号室

## 5. 原子力災害対策

### (1) 地域防災計画の策定及び改定

- ・平成19年10月から、富山県防災会議で専門部会を設け、原子力災害対策について審議し、国との最終協議を終え、平成21年1月に地域防災計画事故災害編の原子力災害対策を策定。
- ・平成23年3月の東京電力福島第一原発事故を踏まえ、同年6月より県防災会議及び原子力災害対策部会を開催し、原子力災害対策に関する地域防災計画の改定について議論を重ね、平成25年4月に地域防災計画（原子力災害編）を策定。
- ・また、国の原子力災害対策指針や防災基本計画の改定等を踏まえ、平成26年5月、平成27年6月に地域防災計画（原子力災害編）の修正を行うとともに、平成26年5月に避難計画要綱の策定（令和2年3月修正）、平成27年6月に緊急時モニタリング計画の策定を行った。
- ・令和元年度においては、その後の国の原子力災害対策指針の改定等を踏まえ、令和元年6月に富山県防災会議を開催し、地域防災計画（原子力災害編）の改定について議論を行った。

#### 【富山県防災会議 原子力対策部会】

・平成31年3月26日 富山県民会館

### (2) 原子力防災対策

平成24年度から、原子力防災資機材の整備や原子力防災訓練の実施等の防災対策に取り組んでおり、令和元年度は、石川県と合同で原子力防災訓練を実施した。

#### 【原子力防災訓練】

##### ア 図上訓練

- ・期 日 令和元年11月4日（月）  
・場 所 県庁（災害対策本部）、氷見市役所、石川県志賀オフサイトセンター、環境科学センター  
・参加者 45機関、約150人  
・概 要 志賀原発で、放射性物質が放出される事故の発生を想定  
TV会議システムを活用した志賀オフサイトセンターや氷見市等との情報共有・連絡訓練、緊急時モニタリングの実施訓練等

##### イ 実動訓練

- ・期 日 令和元年11月17日（日）  
・場 所 氷見市、高岡市、小矢部市  
・参加者 34機関、約1,050人  
・概 要 志賀原発で、放射性物質が放出される事故の発生を想定  
住民の一時移転訓練、安定ヨウ素剤の配布訓練、避難退却時検査の実施訓練等

# 令和元（平成31）年度富山県総合防災訓練の実施

この総合防災訓練は、災害対策基本法第48条に基づき、県、入善町及び黒部市、朝日町が、自衛隊等国の機関をはじめ、防災関係機関、関係市町村、自治会・自主防災組織、民間企業、ボランティア団体、地域住民等とも密接に連携をとりながら、大規模地震災害等の各種災害を想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施し、防災計画等の円滑な運用に資するとともに、防災思想の普及啓発を図ることを目的とする。

## 1 実施期日

令和元年9月29日（日）

## 2 災害想定

### ① 地震・津波

魚津断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震発生。入善町、黒部市で震度7、朝日町で震度6強を観測し、津波が発生するおそれがある。

このため、建物の倒壊、同時多発火災、ライフライン施設の被害等が発生した。

この災害で多数の負傷者も発生し、道路も寸断され、混雑している。

### ② 風水害

9月28日の夜にかけて県東部の入善町、黒部市及び朝日町の山間部において局地的な豪雨が発生し、大雨・洪水警報及び土砂災害警戒情報が発表されている。

## 3 初期活動及び災害対策本部の設置・運営会場

入善町（入善町総合体育館）、黒部市（黒部市総合公園）、朝日町（朝日町役場）

## 4 主な現地訓練会場

入善会場（入善町総合体育館周辺） (第1会場)

黒東小学校会場 (第2会場)

堀切会場 (第3会場)

宇奈月中学校会場 (第4会場)

黒部消防署会場 (第5会場)

やまざき紅悠館会場 (第6会場)

泊会場（あさひ総合病院周辺） (第7会場)

宮崎会場（宮崎漁港周辺） (第8会場)

朝日町文化体育センター（サンリーナ）会場 (第9会場)

## 5 訓練項目

### (1) 災害発生時の情報伝達訓練

- ・防災関係機関の間で迅速、的確な情報共有と対処方針の検討を行う合同調整所訓練
- ・被災市区町村応援職員確保システムによる対口支援の調整訓練
- ・北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅との乗客避難にかかる情報伝達・調整訓練
- ・公共ブロードバンド移動通信システムを活用したドローン(空撮)による情報収集・伝送訓練
- ・県消防防災ヘリコプターによる被害状況調査・映像伝送訓練
- ・行政による臨時災害放送局の開局と災害広報訓練

### (2) 防災関係機関による実践的な応急救護等訓練

- ・海上自衛隊と消防が連携したD.M.A.T海上輸送訓練
- ・地震により倒壊したブロック塀や家屋、閉じ込められた車両からの救出訓練
- ・D.M.A.T、J.M.A.T等による医療救護訓練
- ・県消防防災ヘリ、県警ヘリ、県ドクターヘリによる緊急搬送訓練
- ・県災害救援ボランティア本部及び市町村災害救援ボランティアセンターの設置・運営訓練

### (3) 避難訓練、避難所開設・運営等訓練

- ・5段階の警戒レベルを用いた住民避難訓練
- ・地震、津波による住民等の避難訓練
- ・避難所での支援物資や医薬品の搬送・受入れ訓練
- ・民生委員等による避難行動要支援者との同行避難訓練
- ・外国人被災者に配慮した災害多言語支援センター設置・運営訓練

### (4) 緊急物資輸送訓練

- ・伏木海上保安部、倉庫協会、トラック協会等が連携した救援物資の緊急輸送訓練
- ・市物資拠点から各避難所までの物資輸送訓練

### (5) 応急復旧訓練

- ・地震により被災したライフラインの応急復旧訓練

### (6) 災害防止・防災意識の啓発

- ・余震を想定した身の安全を守るための行動訓練（シェイクアウト訓練）
- ・土石流体験装置などによる各種災害体験
- ・住民による土のう製作体験
- ・木造住宅の耐震化促進や大型家具の固定化等の普及啓発
- ・避難所生活でのエコノミークラス症候群の予防訓練
- ・県協定に基づく段ボールベッド組立訓練

### (1) 情報伝達訓練等

1. 地震、大雨・洪水情報等の伝達訓練
2. 総合防災情報システム・Lアラートによる情報伝達・共有訓練
3. 緊急速報メール等による情報伝達訓練
4. 土砂災害の危険地区名の伝達及び避難情報の発令訓練
5. 支援要請等の情報伝達訓練（非常通信訓練）
6. 防災行政無線等による避難情報等の発信訓練
7. 職員参集訓練
8. 消防団による巡回・避難広報
9. 災害時有線電話を活用した訓練
10. 衛星携帯電話を活用した訓練

11. 朝日町緊急情報メール（住民向け）
12. 朝日町災害対策本部の設置・運営訓練
13. 県災害救援ボランティア本部の立ち上げ（設置）訓練
14. シェイクアウト訓練
15. 非常持ち出し品等の点検
16. 避難訓練・安否確認訓練

(2) 現地訓練

ア 入善会場（入善町総合体育館周辺）

1. 入善町現地災害対策本部設置・運営訓練
2. 富山県関係機関等合同調整所訓練
3. 入善町災害救助ボランティアセンター設置・運営訓練
4. 臨時災害放送局の開設訓練
5. 臨時地デジ中継局の開設訓練
6. 公共B B移動通信システムを活用した情報収集の実演
7. 災害緊急放送訓練
8. 通信衛星を利用した中継
9. 緊急消防援助隊集結場所の広域消防防災センターとの情報伝達訓練
10. 備蓄物資、資機材の確保・輸送の伝達訓練
11. 現地合同指揮所設置・運営訓練
12. 倒壊建物からの救出訓練
13. 多重衝突事故からの救助救出訓練
14. 土砂災害に巻き込まれた車両からの救出訓練
15. 富山県DMATによる多数傷病者救護訓練
16. ドクターヘリによる救急搬送訓練
17. 消防防災ヘリコプターによる救急搬送訓練
18. 富山県警察ヘリコプターによる救助訓練
19. 遺体収容所の設置・遺体への対応訓練
20. 災害時の緊急応急処置
21. 市街地火災防御訓練
22. 緊急交通車両確認標章の発行・交付訓練
23. 土のうによる応急復旧・補強訓練
24. 電源復旧訓練
25. 避難所への緊急送電
26. 移動基地局車の設置訓練
27. 県備蓄救援物資の供給
28. 炊き出し訓練
29. 給水訓練
30. 土のう製作体験
31. 防災・減災の取り組みに関する普及啓発
32. 防災啓発パネル等の展示
33. 自衛隊、警察、国土交通省車両の展示
34. 富山地方気象台広報展示
35. 災害対策用移動通信機器の展示
36. 防災啓発パネルの展示

37. 住宅耐震化の相談窓口の設置
38. 被災建築物応急危険度判定士の支援要請伝達訓練
39. 非常用品の展示
40. 車両型郵便局の展示（資機材展示）
41. 移動相談車の展示
42. AED取扱訓練
43. 煙中体験
44. 緊急輸送道路確保に向けた道路段差修正工法（ジオスロープ工法）の紹介展示
45. 段差乗越え装置の展示とトイレの付いた「多機能車両サクラ」の展示
46. 地震災害防災訓練
47. 河川に関する防災パネル等展示
48. 凈化槽の緊急点検
49. 地震体験
50. 降雨体験
51. 初期消火体験

イ 黒東小学校会場

1. JMAT等による救護所の設置及び医療救護活動訓練
2. 臨時調剤所の設置訓練（調剤、服薬指導）
3. 避難誘導・広報訓練
4. 避難所開設・運営訓練
5. 緊急医薬品の要請・搬送訓練
6. 救助物資供給訓練
7. 物資の受け入れ・配分調整訓練

ウ 堀切会場（黒部市総合公園周辺）

1. 災害対策本部設置・運営訓練
2. 災害対策本部での情報伝達訓練
3. 災害多言語支援センターの設置・運営訓練
4. ドローンによる災害現場被害調査・情報収集訓練
5. 「災害時における応急対策業務に関する細目協定」に基づく情報伝達訓練
6. 通信の確保訓練
7. アマチュア無線による通信確保訓練
8. 地震倒壊家屋人命探索訓練
9. 陸上自衛隊ヘリによる人員輸送訓練
10. 応急救護訓練炊き出し訓練
11. 航空自衛隊ヘリによる負傷者吊り上げ、搬送訓練
12. 応急対策業務の実施
13. 大規模火災防御訓練
14. 津波避難訓練
15. 避難所運営協議会開設・運営訓練
16. 防災資機材使用訓練
17. 電源復旧訓練
18. 移動基地局車の設置訓練
19. 県備蓄救援物資の搬送・配布訓練

20. 救援物資航空輸送訓練
21. 災害時の飲料水提供
22. 火災時の煙体験
23. 応急危険度判定
24. 木造住宅耐震診断 P R
25. 応急処置体験

エ 宇奈月中学校会場

1. 災害救援ボランティアセンターの設置運営訓練
2. ドローンを使った被災現場の情報収集訓練
3. 応急救出・搬送訓練
4. 初期消火訓練
5. 住民避難訓練（地震・土砂災害）
6. 避難行動要支援者への支援訓練
7. 動物同行避難訓練
8. 市内避難場所開設訓練
9. 避難所運営協議会開設・運営訓練
10. 感染症・生活不活発病等の予防訓練
11. 福祉避難室、福祉避難所運営訓練
12. 応急給水訓練
13. 電力の確保訓練
14. 防災資機材使用訓練
15. 市備蓄資材配布訓練
16. 緊急支援物資受入訓練
17. 炊き出し訓練
18. 土石流体感 3Dシアタ一体験・土砂災害実験模型
19. 災害時のお風呂提供
20. 地震保険のPR・啓発
21. 防災に関するパネル展示等
22. 防災地域普及啓発等「土砂災害から身を守るために」
23. はしご車の試乗

オ 黒部消防署会場

1. 緊急支援物資受入、搬送（ラストワンマイル）訓練

カ やまざき紅悠館会場

1. 災害救援ボランティア立ち上げ訓練
2. 倒壊家屋からの救出
3. 応急処置・搬送
4. 災害救助犬による捜索訓練
5. 消防団による管内巡回警戒訓練
6. 初期消火
7. 延焼防止訓練
8. 一時避難場所・地区避難場所への避難訓練
9. 要配慮者に配慮した避難訓練

10. 避難所開設・運営訓練（備蓄資機材を活用）（ダンボールベッド組立訓練）
11. 応急トイレ開設
12. 通信確保訓練
13. 電源復旧訓練
14. 災害時のガス発電機によるライフライン供給訓練
15. 炊き出し訓練
16. 受援体制訓練（物資輸送）
17. 備蓄品の供給
18. 煙中体験
19. 起震車
20. 放水体験
21. 住宅用火災警報器展示
22. 備蓄品等の展示
23. 富山県防災士会による防災教育
24. ドローン展示
25. 防災地域普及啓発等「土砂災害から身を守るために」
26. 備蓄品等の展示

キ 泊会場（あさひ総合病院周辺）

1. 津波避難行動

ク 宮崎会場（宮崎漁港周辺）

1. 海上自衛隊と消防が連携したDMAT海上輸送訓練
2. 伏木海上保安部による救援物資会海上輸送訓練
3. 救援物資陸上輸送訓練
4. 公共BB移動通信システムを活用した情報収集の実演
5. 海上自衛隊掃海艇への燃料供給訓練
6. ヘリコプターによる被害状況調査・関係機関への映像伝送訓練
7. ドローンを使った被災現場の情報収集訓練

ケ 朝日町文化体育センター（サンアリーナ）会場

1. 受援体制訓練（物資輸送）



# 令和元年度石油コンビナート等総合防災訓練実施計画

## 1. 目的

この訓練は、富山県石油コンビナート等防災計画に基づき、富山県石油コンビナート等防災本部が主唱し実施するもので、石油コンビナート等特別防災区域に係る地域において予想される災害に対して、富山県、射水市、伏木海上保安部及び防災機関等の参加のもとに総合的な訓練を実施し、災害応急活動の迅速、円滑化並びに訓練参加機関相互の有機的かつ効果的な協力体制の確立を図るとともに、防災意識の高揚と防災態勢の万全を図るものとする。

## 2. 訓練本部組織

訓練本部長（防災本部 本部長）	富山県知事
訓練副本部長（現地防災本部 現地本部長）	射水市長 伏木海上保安部長
訓練本部員	訓練参加機関の長

## 3. 訓練参加機関

北陸電力株式会社富山新港火力発電所、富山県石油コンビナート等災害対策連絡協議会、富山地区共同防災協議会（富山地区共同防災センター）、富山県沿岸排出油等防除協議会、伏木海上運送株式会社、伏木海上保安部、第九管区海上保安部新潟航空基地、富山県警察本部・射水警察署、富山市消防局・富山北消防署、高岡市消防本部・伏木消防署、射水市消防本部・射水消防署・新湊消防署、射水市消防団、射水市、富山県

## 4. 訓練想定

### 《基本想定》

令和元年11月7日13時30分 富山湾沖合い8km（呉羽山断層帯の海域部）で地震が発生し、射水市で震度6強を記録した。

この地震により富山湾沿岸に津波警報が発令された。

### （想定気象状況）

13時現在の気象状況は、北東の風3m、気温20℃、湿度65%である。

## 【陸上訓練】

### <想定1>

富山湾沖合い8km（呉羽山断層帯の海域部）で発生した地震により、沿岸部に津波警報が発令された。

この地震により、北陸電力㈱富山新港火力発電所、No.2原油タンク（28,350kℓ）の底部に亀裂が生じ、原油が噴出漏洩した。

さらに、防油堤の一部にも亀裂が生じた。

### <想定2>

原油タンク底部からの流出油が拡大し、滯油していた原油が、防油堤亀裂箇所から防油堤外に流出した。

### <想定3>

No.2原油タンクの移送パイプ拡出し弁付近から火災が発生。折からの風にあおられタンク上部まで拡大、隣接タンク及び併設する危険物施設に延焼する恐れが生じた。

また、この火災で保安活動にあたっていた従業員2名が負傷した。

## 【海上訓練】

### <想定4>

富山湾沖合い8kmを震源とする地震により、富山湾沿岸に津波警報が発令されると共に、富山新港新湊地区北陸電力株式会社富山新港火力発電所 LNG栈橋にてタンカーA丸が荷役中、ローディングアームが破損し、元バルブ閉鎖までの間に約7kℓの重油が流出した。

### <想定5>

タンカーA丸の居住区から火災が発生し、乗組員による初期消火に失敗、火災が陸上施設に及ぶ恐れが生じた。

## 訓練參加機関人員・車両等一覧

参加機関名	人 員	參加車両・船舶等
北陸電力株式会社 富山新港火力発電所	140	大型化学高所放水車 1台、泡原液搬送車 1台、バキューム車 1台、トラック(ユニック、2t) 2台、軽トラック 1台、フォークリフト 1台、普通乗用車 4台
富山地区共同防災協議会 富山地区共同防災センター	4	大型化学高所放水車 1台、泡原液搬送車 1台
富山県沿岸排出油等防除協議会 伏木海陸運送株式会社	7	作業船(伏木丸) 1隻、作業船(海陸丸) 1隻
伏木海上保安部	15	巡視船(やひこ) 1隻、巡視艇(たちかぜ) 1隻
第9管区海上保安本部 新潟航空基地	5	ヘリコプター 1機
富山県警察本部 射水警察署	6	パトカー 2台、捜査車 1台
富山市消防局 富山北消防署	7	消防艇(神通) 1隻
高岡市消防本部 伏木消防署	9	高所放水車 1台、消防艇(やまと) 1隻
射水市消防本部 射水消防署、新湊消防署	40	指揮車 1台、大型化学高所放水車 1台、泡原液搬送車 1台、はしご車 1台、搬送車 1台、査察車 1台、消防ポンプ車 2台、救急車 1台
射水市消防団	4	消防ポンプ車 1台
射 水 市	11	広報車 1台、搬送車 1台
富 山 県	17	ヘリコプター 1機、漁業取締船(つるぎ) 1隻、引船(日本海) 1隻、車両 1台
計	265	車両30台、船艇8隻、航空機2機

## 訓練進行表

訓練内容		13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
陸上訓練	1 初期対応訓練(13:30~13:46)						
	(1) 自衛防災隊招集	■					
	(2) 津波警戒及び避難行動	■					
	(3) 保安点検指令、異常現象の発見通報		■				
	(4) 津波注意報解除		■				
	(5) 自衛防災本部の設置		■■■■■				
	(6) 応急措置の実施		■■■				
	(7) 警戒警備・交通規制		■■■■■				
	(8) 消防現場指揮本部の設置		■■■■■				
	(9) 指揮権の移譲		■				
陸上訓練	(10) 化学消防車等の消防隊の配備		■■■■■				
	(11) 火災警戒区域の設定		■■■■■				
	2 流出油防ぎよ訓練(13:49~13:57)						
	(1) 防油堤外への流出防止と流出油着火防止		■■■				
	(2) 現地防災本部の設置		■■■■■				
	(3) 「避難勧告」の発令		■■■■■				
	(4) 広 報		■■■■■				
	(5) 応急措置の完了報告		■				
	(6) 再発防止の警戒警備		■				
	3 油タンク火災消火訓練(14:00~14:12)						
海上訓練	(1) 火災発生の通報及び初期消火			■■■■■			
	(2) 関係機関への通報及び応援要請			■■■■■			
	(3) 「避難指示」の発令			■■■■■			
	(4) 広 報			■■■■■			
	(5) 消火薬剤の搬送			■■■■■			
	(6) 負傷者の救出救護			■■■■■			
	(7) 一斉放（泡）水消火			■■■■■			
	(8) 鎮 火			■			
訓練会場移動（陸上訓練終了～14:40）				■■■■■			
海上訓練	<14:40～15:40>						
	4 流出油防除訓練						
	(1) 情報伝達・出動要請				■		
	(2) 火気使用禁止広報				■		
	(3) ガス検知及び状況調査				■		
	(4) 船舶交通規制				■		
	(5) オイルフェンス展張				■		
	(6) 流出油回収				■		
	(7) 流出油処理				■		
	5 消火放水訓練 火災船消火				■		
閉会式（海上訓練終了後）						■■■	

## 令和元（平成31）年の気象概況

### （1）北陸地方（新潟県・富山県・石川県・福井県）の季節ごとの天候経過

#### （2019年は記録的な高温・かなりの多照）

◆冬（2018年12月～2019年2月）は、12月は日本付近を高気圧と低気圧が次々に通過したが、月末は強い冬型の気圧配置が続き、荒れた天気や大雪になった所があった。1月は冬型の気圧配置が現れやすく、雪や雨の日が多くたが強い寒気の南下は一時的だった。2月は寒気や発達した低気圧の影響は小さく、冬型の気圧配置は長続きしなかった。上旬から中旬にかけては雨や雪の日が多くたが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くた。

◆春（3～5月）は、3月と4月は、高気圧と低気圧が交互に通過して概ね数日の周期で変わった。3月上旬は、暖かい空気に覆われて晴れた日が多く、北陸地方の平均気温は1961年の統計開始から高い方の極値を更新した。4月上旬のはじめは寒気の影響で雪が降り、平地でも積雪となつた所があった。5月は低気圧や前線は日本の北を通ることが多く、高気圧に覆われて晴れた日が多くた。このため、北陸地方の全ての気象官署で日照時間の多い方の極値を更新し、北陸地方の日照時間は1946年の統計開始から多い方の極値を更新した。晴れたことによる強い日射の影響に加え、中旬は日本の東に中心を持つ高気圧から、下旬は西から暖かい空気が流れ込み、北陸地方の平均気温は1961年の統計開始から中旬で高い方の2位、下旬で高い方の極値を更新した。

◆夏（6～8月）は、6月は、上旬は期間の中頃にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多くたが、7日以降は低気圧の通過や気圧の谷などの影響を受けて曇りや雨の日が続き、北陸地方は6月7日頃に梅雨入りをした。梅雨入り後は、気圧の谷や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、6月の終わりは北陸付近に停滞した梅雨前線の活動が活発となつたため大雨となつた所があったが、梅雨前線の北上が遅く、移動性高気圧に覆われて晴れの日が続いた時期もあった。7月は、下旬前半にかけて太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、梅雨前線は本州南岸に停滞することが多く、曇りや雨の日が多くたが、前線が日本の南まで南下する時期もあり、降水量は少なかつた。下旬の中頃からは前線が次第に北上して不明瞭となり、7月24日以降は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなつたことから、北陸地方では7月24日頃に梅雨明けをした。8月は、上旬から中旬にかけて太平洋高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さが続いた。14日から15日は西日本を北上した台風第10号によりフェーン現象が発生して顕著な高温となり、新潟県では15日に累年による全国の日最低気温の高い方の極値（アメダス糸魚川31.3°C）と2位（相川30.8°C）を更新した。このため北陸地方では、1961年の統計開始から、8月上旬と中旬の平均気温は高い方の2位を、8月上旬の日照時間は多い方の極値を更新した。8月下旬になると秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、前線の活動が活発となつて大雨となつた日があつた。

◆秋（9～11月）は、9月は、前線や湿った空気、低気圧などの影響で曇りや雨の日が続いた時もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多くた。複数の台風が日本に接近または上陸・通過し、暖かい空気が流れ込んだ影響もあり、かなりの高温、かなりの少雨、かなりの多照となつた。10月は台風や低気圧および前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかつた。12日から13日には東日本から北日本を上陸・通過した台風第19号の影響で大雨となり、新潟県で初めてとなる大雨特別警報が上越市、糸魚川市、妙高市に発表され、北陸地方の10月中旬の降水量は1961年の統計開始から多い方の2位を更新した。また、10月上旬と下旬は周期的に通過する低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込み、10月下旬の北陸地方の平均気温は、1961年の統計開始から高い方の極値を更新した。11月は気圧の谷や寒気の影響で曇

りや雨または雪の降った日もあったが、日本の北を低気圧が通過することが多かったため下旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの少雨、かなりの多照となった。北陸地方の11月下旬の降水量は、1961年の統計開始から少ない方の極値を更新した。

◆12月は、冬型の気圧配置や気圧の谷、寒気の影響で、曇りや雨または雪の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。寒気の影響が弱く冬型の気圧配置も一時的だったため、かなりの高温、かなりの少雪となった。

◆2019年の北陸地方の平均気温の平年差は+1.0°Cで平年よりかなり高く、2016年および2004年と並び、1946年の統計開始から最も高い記録的な高温となった。

◆台風の発生数は平年より多い29個だった(平年の年間発生数は25.6個)。日本への上陸数は平年(2.7個)を上回る5個だった。北陸地方への接近数は6個だった(平年の北陸地方への接近数は2.5個)。

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

## (2) 富山県の月別概況

### 【1月】

上旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多くなりました。 気温は、平年並か平年に比べ低くなりました。 降水量は、朝日で平年に比べ多くなった他は、平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。 日照時間は、平年並か平年に比べ多くなりました。
中旬	前半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、後半は気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で、曇りや雨または雪の日が多くなりました。 気温は、朝日で平年並、他は平年に比べ高くなりました。 降水量は、伏木で平年に比べかなり少なくなった他は、平年に比べ少ないか平年並となりました。 日照時間は、朝日で平年に比べ少なくなった他は、平年並か平年に比べ多くなりました。
下旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や前線の影響で曇りや雪または雨の日が多くなりました。 気温は、富山、南砺高宮で平年に比べ高く、その他は平年並となりました。 降水量は、朝日と大山で平年に比べかなり多くなった他は、平年並か平年に比べ多くなりました。 日照時間は、上市で平年に比べかなり多くなった他は、平年並か平年に比べ多くなりました。
月平均気温	朝日で平年に比べ低くなった他は、平年並か平年に比べ高くなりました。
月降水量	朝日で平年に比べかなり多くなった他は、平年並か平年に比べ少なく、富山、伏木、砺波ではかなり少なくなりました。
月間日照時間	朝日で平年より少なく、魚津で平年並、その他は平年に比べ多いか、かなり多くなりました。

### 【2月】

上旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多くなりました。 気温は、平年に比べ高く、富山ではかなり高くなりました。 降水量は、朝日で平年に比べ多くなった他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、平年並か平年に比べ多くなりました。
----	--

中旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雪または雨の日が多くなりました。 気温は、朝日、魚津、上市で平年並となった他は、平年に比べ高になりました。 降水量は、朝日で平年に比べ多くなった他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、朝日、伏木、氷見で平年に比べかなり少なくなった他は、平年に比べ少なくなりました。
下旬	気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、平年に比べ高になりました。 降水量は、平年に比べかなり少なくなりました。 日照時間は、魚津、上市で平年並となった他は、平年に比べ多くなりました。
月平均気温	平年に比べ高になりました。
月降水量	朝日で平年並になった他は、平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。
月間日照時間	朝日と上市で平年に比べ少なくなった他は、平年並となりました。

【3月】

上旬	低気圧や上空の寒気の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、平年に比べかなり高になりました。 降水量は、氷見で平年に比べかなり少なくなりました。また、猪谷では平年に比べ多くなりました。他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、氷見で平年に比べかなり多くなった他は、平年に比べ多くなりました。
中旬	前半は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨又は雪の日が多くなりましたが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、富山で平年に比べ高くなった他は、平年並となりました。 降水量は、宇奈月、魚津、八尾で平年並となった他は、平年に比べ多くなりました。 日照時間は、氷見で平年に比べ多く、朝日で平年に比べ少なくなった他は、平年並となりました。
下旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や気圧の谷、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、朝日で平年並となった他は、平年に比べ高になりました。 降水量は、魚津で平年に比べかなり少なくなった他は、平年に比べ少ないか平年並となりました。 日照時間は、平年に比べ少なくなりました。
月平均気温	朝日で平年に比べ高くなった他は、かなり高になりました。
月降水量	猪谷で平年に比べ多くなった他は、平年並か、平年に比べ少なくなりました。
月間日照時間	氷見で平年に比べ多く、朝日で平年に比べ少なくなった他は、平年並となりました。

【4月】

上旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や上空の寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多くなりました。 気温は、平年に比べ低くなりました。 降水量は、平年並か平年に比べ多くなりました。 日照時間は、平年並か平年に比べ少なくなりました。
----	--

中旬	気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、朝日、魚津、氷見で平年に比べ低くなつた他は、平年並となりました。 降水量は、平年並か平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、平年に比べ多くなりました。
下旬	期間のはじめと終わりに高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や気圧の谷、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、上市と南砺高宮で平年並となつた他は、平年に比べ低くなりました。 降水量は、八尾と猪谷で平年並となつた他は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。 日照時間は、平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。
月平均気温	朝日で平年に比べかなり低く、その他は平年に比べ低くなりました。
月降水量	平年並か、平年に比べ多くなりました。
月間日照時間	氷見と南砺高宮で平年並となつた他は、平年に比べ少なくなりました。

【5月】

上旬	低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、平年並か平年に比べ低くなりました。 降水量は、氷見で平年に比べかなり少なくなりました他は、平年に比べ少ないか、平年並となりました。 日照時間は、平年に比べかなり多くなりました。
中旬	上空の気圧の谷や湿った空気の影響で雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、平年に比べかなり高くなりました。 降水量は、富山県西部で平年並となりましたが、東部では平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。 日照時間は、平年に比べかなり多くなりました。
下旬	期間の初めや終りで前線や気圧の谷の影響で雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、平年に比べてかなり高くなりました。 降水量は、氷見で平年並となつた他は、平年に比べ多くなりました。 日照時間は、平年に比べてかなり多くなりました。
月平均気温	八尾で平年に比べ高く、その他は平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	平年並か、平年に比べ少なく、氷見ではかなり少なくなりました。
月間日照時間	平年に比べかなり多くなりました。

【6月】

上旬	前半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。なお、6月7日に北陸地方は、梅雨入りしたと見られます。昨年より2日早く、平年より5日早い梅雨入りとなりました。(確定値) 気温は、八尾で平年並となった他は、平年に比べ高になりました。 降水量は、上市、八尾で平年に比べ多くなった他は、平年に比べかなり多くなりました。 日照時間は、魚津、伏木、氷見で平年に比べ多くなった他は、平年並となりました。
中旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、八尾で平年に比べかなり低くなった他は、平年に比べ低いか平年並となりました。 降水量は、平年に比べ多いか平年並となりました。 日照時間は、平年に比べ多いか平年並となりました。
下旬	期間の中頃に高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線や気圧の谷、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、富山と南砺高宮で平年に比べ高くなかった他は、平年並となりました。 降水量は、八尾で平年に比べ少なかった他は、平年並か平年に比べ多くなりました。 日照時間は、平年並か平年に比べ多くなりました。
月平均気温	南砺高宮で平年に比べ高くなかった他は、平年並となりました。
月降水量	八尾と上市で平年並となった他は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
月間日照時間	平年並か平年に比べ多くなりました。

【7月】

上旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線や上空の寒気、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、平年並となりました。 降水量は、八尾、大山、猪谷で平年並となった他は、平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、魚津で平年に比べ多くなった他は、平年並となりました。
中旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、平年並か平年に比べ低くなりました。 降水量は、猪谷で平年並となった他は、平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、富山と八尾で平年に比べ少なくなった他は、平年に比べかなり少なくなりました。
下旬	期間のはじめは気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨となりましたが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 なお、北陸地方は7月24日ごろに梅雨明けしたとみられます。これは平年と同じで、昨年より15日遅い値です。(確定値) 気温は、八尾で平年並となった他は、平年に比べ高いか、かなり高くなりました。 降水量は、平年並か平年に比べ多くなりました。 日照時間は、平年並となりました。

月平均気温	富山で平年に比べ高くなった他は、平年並となりました。
月降水量	魚津で平年に比べかなり少なくなった他は平年並か平年に比べ少なくなりました。
月間日照時間	平年並か平年に比べ少なくなりました。

【8月】

上旬	高気圧に覆われて晴れた日が多くありましたが、期間の中頃は湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり所々で非常に激しい雨の降った日もありました。 気温は、朝日と八尾で平年に比べ高くなった他は、平年に比べかなり高くなりました。 降水量は、平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。 日照時間は、平年に比べかなり多くなりました。
中旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、湿った空気や台風第10号の影響で雨の降った日もありました。 気温は、平年に比べ高いか、かなり高くなりました。 降水量は、平年並か平年に比べ多くなりました。 日照時間は、八尾で平年に比べ多くなった他は、平年並となりました。
下旬	期間の中頃と終わりは高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、朝日で平年に比べかなり低くなった他は、平年に比べ低くなりました。 降水量は、大山と上市で平年に比べ多くなった他は、平年に比べかなり多くなりました。 日照時間は、南砺高宮で平年に比べ少なくなった他は、平年に比べかなり少なくなりました。
月平均気温	朝日で平年並、南砺高宮で平年に比べかなり高くなった他は、平年に比べ高くなりました。
月降水量	朝日で平年に比べかなり多くなった他は、平年並か平年に比べ多くなりました。
月間日照時間	平年並か平年に比べ多くなりました。

【9月】

上旬	期間の前半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、朝日と八尾で平年に比べ高かった他は、平年に比べかなり高になりました。 降水量は、大山で平年に比べかなり少なかった他は、平年に比べ少ないか平年並となりました。 日照時間は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
中旬	低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。 気温は、伏木で平年に比べ高くなった他は、平年並となりました。 降水量は、平年並か平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、平年並となりました。
下旬	気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。 気温は、平年に比べ高いか、かなり高くなりました。 降水量は、氷見と猪谷で平年に比べかなり少なくなった他は、平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、平年並か平年より多くなりました。

月平均気温	伏木と上市で平年に比べかなり高くなつた他は、平年に比べ高くなりました。
月降水量	平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。
月間日照時間	平年に比べ多いか、かなり多くなりました。

【10月】

上旬	期間の初めと終わりで高気圧に覆われて晴れた日が多く、中頃は低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、朝日、魚津、八尾で平年に比べ高く、他は平年に比べかなり高くなりました。 降水量は、魚津、富山、大山、猪谷で平年並、他は平年に比べ多くなりました。 日照時間は、上市と砺波で平年に比べ多く、他は平年並となりました。
	気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、12日は台風第19号の影響で荒れた天気となりました。 気温は、平年並か平年に比べ高くなりました。 降水量は、平年に比べかなり多くなりました。 日照時間は、平年に比べかなり少なくなりました。
	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、朝日と魚津で平年に比べ高くなつた他は平年に比べかなり高くなりました。 降水量は、朝日、宇奈月、砺波で平年に比べ少なくなつた他は、平年並か平年に比べ多くなりました。 日照時間は、朝日で平年に比べかなり少なくなつた他は、平年に比べ少なくなりました。
月平均気温	朝日で平年並となつた他は平年に比べ高いか、かなり高くなりました。
月降水量	平年に比べかなり多くなりました。
月間日照時間	氷見で平年に比べ少なくなつた他は平年に比べかなり少なくなりました。

【11月】

上旬	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降つた日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。 気温は、平年に比べ低くなりました。 降水量は、平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。 日照時間は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
	低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。 気温は、朝日で平年並となつた他は平年に比べ高くなりました。 降水量は、朝日で平年に比べ多くなつた他は平年並となりました。 日照時間は、八尾で平年並となつた他は平年に比べ多くなりました。
	気圧の谷と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。 気温は、朝日で平年に比べ低く、伏木と氷見で平年に比べ高く、その他は平年並となりました。 降水量は、八尾で平年並となつた他は、平年に比べ少ないか、かなり少なくなりました。 日照時間は、氷見と上市で平年並となつた他は、平年に比べ多くなりました。
月平均気温	朝日で平年に比べ低くなつた他は平年並となりました。
月降水量	朝日、八尾、大山で平年に比べ少なく、その他はかなり少なくなりました。
月間日照時間	平年に比べかなり多くなりました。

## 【12月】

上旬	期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 なお、富山では12月1日に「初氷」、12月6日に「初雪」を観測しました。 気温は、朝日、魚津、氷見で平年に比べ低く、その他は平年並となりました。 降水量は、朝日、上市、富山、氷見で平年に比べ多く、その他は平年並となりました。 日照時間は、平年並となりました。
中旬	高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わりました。 気温は、朝日と八尾で平年に比べ高く、その他は平年に比べかなり高くなりました。 降水量は、氷見と伏木で平年に比べかなり少なく、その他は平年に比べ少ないか平年並となりました。 日照時間は、氷見で平年に比べかなり多く、その他は平年に比べ多くなりました。
下旬	高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多くなりました。 気温は、朝日で平年に比べ高く、その他は平年に比べかなり高くなりました。 降水量は、平年並か平年に比べ少なくなりました。 日照時間は、平年並か平年に比べ多くなりました。
月平均気温	朝日で平年並、氷見で平年に比べ高く、その他は平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	伏木で平年に比べかなり少なくなった他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。
月間日照時間	平年に比べ多くなりました。

第1表 令和元(平成31)年災害別被害状況

災害名		雪害		雪害		雪害		雪害		強風		大雨		台風16号		大雨		台風17号		大雨		台風19号		強風		(期間:平成31年1月1日~令和元年12月31日)	
発生年月日	区分	1月26日	1月29日	1月30日	2月10日	2月14日	2月17日	3月14日	4月5日	6月15日 ~6月17日	6月27日 ~6月30日	8月16日	8月20日 ~8月23日	8月27日 ~8月30日	9月23日	10月3日 ~10月4日	10月12日 ~10月14日	11月19日	計								
死	者	人																									
人の 被 害	行 方 不 明	者	人																								
負傷者	重 輕	傷	人																								
住	全	棟																									
半	全	棟																									
家	半	棟																									
被	一 部	棟																									
床	上	部																									
被	床	上	部																								
床	下	部																									
床	水	浸	水	世	井																						
害	非住家	公共建物	棟																								
死	その他	他	棟																								
田	田	流出・埋没	ha																								
火	火	流出・埋没	ha																								
学	校	流出・埋没	ha																								
病	院	流出・埋没	ha																								
道	路	流出・埋没	ha																								
橋	りょ	橋	流出・埋没	ha																							
の	河	川	箇所																								
港	港	湾	箇所																								
砂	砂	防護箇所																									
清掃施設	施設	箇所																									
塵	くすり	れ箇所																									
鉄道不通箇所	鐵道	不通	箇所																								
被害船舶隻	被	害	船舶	隻																							
他水道戸	他	水道	戸																								

災害名	雪害	雪害	雪害	雪害	強風	強風	大雨	台風16号	大雨	台風17号	強風	台風19号	大雨	台風4号	台風14号	台風19号	強風	計
発生年月日 区分	1月26日	1月29日	1月30日	2月10日	2月14日	2月17日	3月14日	4月5日	6月15日 ~6月17日	6月21日 ~6月30日	8月16日	8月20日 ~8月23日	8月27日 ~8月30日	9月23日	10月3日 ~10月4日	10月12日 ~10月14日	11月19日	
電 話 通線																		
電 気 戸																		
ガ ス 戸																		
そ ブ ロ シ ク 壁 等 部 所																		
の 他																		
火 連 物 件																		
災 危 残 物 件																		
発 生 の そ の 他 件																		
り 災 世 帯 敷 地 施																		
り 災 著 者 数 人																		
公 立 文 教 施 設 千円																		
農 林 水 産 業 施 設 千円																		
公 共 土 木 施 設 千円																		
そ の 他 の 公 共 施 設 千円																		
小 計 千円																		
公共施設被害市町村数																		
そ 計 畜 牧 被 害 千円																		
林 產 被 害 千円																		
畜 產 被 害 千円																		
の 水 產 被 害 千円																		
商 工 被 害 千円																		
他 そ の 地 の 板 板 被 害 千円																		
被 害 総額 千円																		
都 道 府 県 設 置	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
災 害 対 策 本 部 解 救	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
災 害 対 策 本 部 設 置 市 町 村	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体
災 害 対 策 法 適 用 市 町 村	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体	團 体
消 防 職 員 出 勤 人 数 人	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	2	47	65	37	268	108	70	4
消 防 团 隊 出 勤 人 数 人																		366
																		1,326

第2表 防災会議及び地域防災計画等の現況

(その1) (令和2年4月1日現在)

区分 市町村名	設防 置の 会 有無	防災会議(令和元年度)										防災会議の部会数						
		開催回数	検地 域討 ・災 修正の 正)	施設防 設災行 の開無 整寸線 備る等	立防 案災 ・訓 練討の 討)	組織 織災 ・会 運議 營の 營)	その他	地震	津波	風	火 山 災	砂 災	土 雪	救 助	急 医 療	通 信 連 絡	原 子 力	その 他の 他
富山市	有	2	○	-	-	○	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚津市	有	2	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
氷見市	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滑川市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	有	1	○	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
砺波市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小矢部市	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	有	1	○	-	-	-	-	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
射水市	有	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
舟橋村	有	0	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
上立町	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入善町	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	11	9	0	0	1	1	2	0	2	0	1	0	1	0	2	1	1









第5表 災害対策啓発事業の実施状況

(令和元(平成31)年度)

区分 市町村名		広報	誌講演会・研修会	新聞	ラジオ・テレビ	冊子・パンフレット	映像資料等	料起震車等による体験人	その他の数
富山市	18	1	0	61	0	0	0	0	0
高岡市	4	1	0	365	3	0	0	0	0
魚津市	0	1	0	0	0	0	0	0	0
滑川市	12	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	3	0	0	0	0	0	0	0	0
小矢部市	2	0	0	4	0	0	0	0	0
砺波市	12	0	0	12	0	0	0	0	0
南砺市	1	1	0	0	0	0	0	0	0
射水市	12	3	0	0	0	0	0	0	0
舟橋村	2	1	0	0	0	0	0	0	0
上町	0	0	0	0	1	0	0	0	0
立山町	5	0	0	0	0	0	3	0	0
入善町	8	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	2	1	0	49	0	2	0	0	0
合計	82	9	0	491	5	5	0	0	0



第7表 防災無線通信施設等の状況

(令和2年4月1日現在)

区分 市町村名	防災無線に係る調査												維持費(千円) その他	
	移動局数		無線局数		線路設置場所別		移動局数		警報機数		医療機関数			
	車両数	中継局数	形態別移動局数	可搬型	携帯型	役場等	公施設	職員	行政機関	消防機関	監視機関	保健機関		
富山市	8	3	74	17	42	109	24	0	0	0	0	0	528	
高岡市	2	1	34	7	14	44	0	0	0	0	0	0	0	
魚津市	1	0	18	2	6	20	0	0	1	0	0	0	0	
滑川市	0	0	4	0	39	43	0	0	0	0	0	0	0	
黒部市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
砺波市	1	1	12	9	101	75	21	0	0	3	0	0	1,458	
小矢部市	0	0	2	6	4	8	1	0	0	3	0	0	0	
南砺市	3	3	20	6	47	72	0	0	0	1	0	0	0	
射水市	1	0	26	0	150	48	102	0	0	0	0	0	0	
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上町	1	0	26	0	7	33	0	0	0	0	0	0	23	
立山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入善町	3	0	19	0	0	21	0	0	0	0	0	0	90	
朝日町	1	1	9	2	15	24	0	0	0	0	0	0	0	
合計	22	9	255	53	428	513	148	0	0	10	0	2	2,099	



第8表 自主防災組織の現況

(その2) (令和2年4月1日現在)

区分 市町村名	自主防災組織の活動状況					
	平常時の活動			災害時の活動		
防災訓練実績	防災知識の発啓	活動地域内の消防機関等の他	災害危険箇所巡回情報収集・報告の初発	初期消火活動	負傷者・救出・難民の避難活動	
富山市	551	551	551	551	551	551
高岡市	566	0	0	566	566	566
魚津市	89	89	89	0	89	89
氷見市	22	22	0	0	22	22
滑川市	142	142	142	0	172	142
黒部市	118	118	0	0	118	118
砺波市	27	27	0	0	27	27
小矢部市	18	18	0	0	190	190
南砺市	27	27	0	27	27	27
射水市	178	178	178	178	178	178
舟橋村	12	0	0	12	12	12
上町	101	101	101	101	101	101
立山町	117	117	0	0	117	117
入善町	53	0	0	53	53	53
朝日町	87	87	0	87	87	87
合計	2,108	1,542	1,477	1,061	869	2,310
					2,280	2,043
						797

第8表 自主防災組織の現況

(その3) (令和2年4月1日現在)

区分 市町村名	自主防災組織の活動状況										
	情報連絡用機材			資機材の保有状況			可搬式動力ボンブ				
消火器、三角バケツ等の初期消火用資機材	携帯用無線機	ジヤッキ、バーク等の救助用機材	テント、担架等の避難機材	土蔵用袋、かげ木等の水防用材	救急医療用セット、火衣等の個人装備	ヘルメット、防護機材	ビデオ装置等の防災知識普及用教材	防災用資機材	可搬式動力ボンブ	可搬式動力ボンブ	可搬式動力ボンブ
富山市	292	292	292	292	292	292	292	292	292	0	0
高岡市	456	0	456	456	456	456	456	456	456	0	0
魚津市	37	1	40	29	50	67	29	89	1	11	3
永見川市	20	8	20	18	21	14	19	21	0	5	5
滑川市	115	28	25	25	38	1	28	31	1	17	17
黒部市	118	8	118	118	106	118	26	118	1	2	2
砺波市	27	14	20	27	27	27	27	27	4	18	18
小矢部市	55	37	77	18	80	59	37	18	3	29	9
南砺市	36	20	1	14	20	3	14	22	11	23	10
射水市	75	11	60	93	87	47	86	94	0	32	32
舟橋村	0	1	4	1	4	1	4	4	0	0	0
上町	26	0	29	13	29	8	16	50	3	2	2
立山町	49	5	36	29	56	71	17	53	0	1	1
八善町	19	0	18	18	18	18	18	18	0	18	18
朝日町	86	44	69	85	86	7	69	86	0	0	0
合計	1,411	469	1,265	1,236	1,370	1,189	1,138	1,379	316	158	117



第10表 相互応援協定の状況

		民間機関等との相互応援協定の締結状況						(令和2年4月1日現在)							
区分 市町村名	市町村間の相互応援協定の有無 うち他都道府県また他の市町村が含まれているもの	放送協定		報道協定		救急救護協定		輸送協定		災害復旧協定		物資協定		その他	
		○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
富山市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
高岡市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
魚津市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
見水市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
滑川市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
黒部市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
砺波市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
小矢部市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
南砺市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
射水市	有	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
舟橋村	有	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
上市町	有	有	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
立山町	有	有	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
入善町	有	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-
朝日町	有	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-
合計	15	14	8	1	9	7	15	15	15	15	8	14			

